



外国出張報告書

平成 27 年 8 月 14 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 27 年 5 月～6 月
3. 出張目的 ため池の現況調査及び水収支算定のための現地調査等（アフリカ稲作普及：農水補助金）、木製柵渠の劣化試験（低コスト水利施設）：B

4. 成果の概要

(1) アフリカ稲作普及

ガーナ国において、ため池の現状、利用方法に関して詳細な情報を収集した。水収支分析を行うため、前回出張までに設置した水位計の動作確認を行い、データを回収すると共に、雨期始めの貯水利用状況を把握した。また、降雨と表面流出の関係を調査するための流出試験を現地で実施した。その他、調査の年度開始にあたり、関係機関等へ調査方針を説明した。

(2) 低コスト水利施設

木製柵渠（木柵）の耐久性の検証に必要な経年変化を把握するため、昨年までと同様、この時期に既設木柵部材の被害状態を調査した。